

2月2日(金)

## 令和6年度 A日程入学試験問題

# 選 択 科 目

### — 注意事項 —

- 1 問題ページは以下のとおり。解答用紙はいずれの科目も1枚である。

日本史	1 ~ 14 ページ	世界史	15 ~ 30 ページ
政治・経済	31 ~ 50 ページ	数学①	52 ~ 57 ページ
数学②	58 ~ 66 ページ		

- 2 試験開始後、問題を見てから解答する科目を選択することができる。

選択した科目は、解答用紙の科目名欄へ指示にしたがって記入し、選択欄を必ずマークすること。

※数学を選択する場合は、文学部、神道文化学部、法学部、人間開発学部は「数学①」を、経済学部、観光まちづくり学部は「数学②」を解答すること。

- 3 解答は、解答用紙の解答マーク欄へ問題の指示にしたがってマークすること。

解答用紙は全科目共通であるから、科目によってはマークしなくてもよい解答マーク欄がある。

なお、数学の解答のみ解答用紙裏面の「B面」に解答すること。

- 4 裏表紙に数学の解答上の注意が記載してあるので、この問題冊子を裏返して読んでおくこと。

- 5 試験時間は60分である。

# 世界史

1 この問題は、解答欄  ～  に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

魏晋南北朝時代には、多民族がまじりあう中で、多様な思想や文化が展開した。仏教の普及に刺激されて道教が成立したのもこの頃である。 の一派である拓跋氏が華北にたてた北魏では、道士の が教団をつくって勢力を伸ばした。魏・晋以後の上流貴族の間では 思想に基づく哲学議論である清談が流行した。仏教・道教の浸透や教団の形成、清談のような議論の広がり、後漢末以来の戦乱が相次いだ社会状況がその背景にあったと考えられる。やがて南北朝も中期になると、社会はようやく安定を迎えた。文学では対句を用いた華麗な文体が好まれるようになり、梁の が編纂した『文選』には、古来の優れた詩文が集められた。

隋によって南北朝が統一されたのち、華北と江南の文化は融合されて、唐に引き継がれた。儒学が(5) 科挙の試験科目となり、漢代以来の が改めて重視され、経典類の研究が進められて、(7) 勅撰の注釈書である『五経正義』が編纂された。また唐代の科挙では詩賦が重視されたことから、詩作がさかんに行われるようになり、(8) 多くの詩人が活躍した。

魏晋南北朝から隋唐時代にかけては、絵画や書法においても優れた芸術が生み出された。絵画では、東晋の顧愷之や唐の呉道玄があり、書法では、 の王羲之や、唐の褚遂良・顔真卿が出た。8世紀の前半、呉道玄は唐の に画才を認められて宮中に入り、人物・神仏などを立体的に描く画風を生み出した。また顔真卿は がおきた際、官僚として義勇軍を率いたことでも知られ、王羲之以来の典雅な書風に対して、革新的な力強い書風を起こした。

問1 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 匈奴      イ 鮮卑      ウ 突厥      エ 吐蕃      オ 契丹

問2 空欄  に入るのに最もふさわしい人物を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 張儀      イ 王仙芝      ウ 寇謙之      エ 楊堅      オ 徐光啓

問3 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 老荘      イ 華夷      ウ 法家      エ 墨家      オ 儒家

問4 空欄  に入るのに最もふさわしい人物を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 董其昌      イ 太武帝      ウ 光武帝      エ 謝靈運      オ 昭明太子

問5 下線部 (5) について述べた文として、最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 隋の時代に始まり、唐の時代に殿試が行われるようになった。
- イ 隋の時代に始まり、北宋の時代に殿試が行われるようになった。
- ウ 唐の時代に始まり、中華人民共和国の建国時に廃止された。
- エ 唐代には3年に1回の実施であったが、北宋の時代には毎年行われるようになった。
- オ 唐代には進士科のみであったが、北宋の時代には秀才科や明経科などの諸科が設けられた。

問6 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 考証学      イ 訓詁学      ウ 東学      エ 陽明学      オ 実学

問7 下線部 (7) に関連して、のちの明代に儒教の經典の注釈書として作成された書物を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 『儒林外史』      イ 『永楽大典』      ウ 『古今圖書集成』      エ 『四庫全書』  
オ 『四書大全』

問8 下線部(8)に関連して、唐代の詩人について述べた文として、最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 唐初期の詩人陶潜は、田園生活へのあこがれを詠んだ。

イ 唐中期の詩人李白は、「詩仙」と称された。

ウ 唐中期の詩人杜甫は、「長恨歌」の作者として有名である。

エ 唐後期の詩人白居易は、「詩聖」と称された。

オ 唐後期の詩人蘇軾は、唐宋八大家の一人である。

問9 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 北魏      イ 西晋      ウ 東晋      エ 北周      オ 陳

問10 空欄  に入るのに最もふさわしい人物を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 太祖      イ 高祖      ウ 太宗      エ 玄宗      オ 文帝

問11 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 黄巢の乱      イ 靖難の役      ウ 黄巾の乱      エ 靖康の変      オ 安史の乱

**2** この問題は、解答欄  ～  に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

1300年ころ、小アジアに成立したオスマン帝国は、小アジアに残ったビザンツ帝国領を征服し、さらにバルカン半島に進出して  を首都とした。その後、オスマン帝国は、ティムール朝との戦いに敗れて  が捕虜にされるなど、大きな打撃を受けた。しかし、帝国は再興され、 の時代にビザンツ帝国を滅ぼして、 に首都を移した。

16世紀に入ると、オスマン帝国はさらに版図を拡大し、1517年には  朝を滅ぼしてメッカとメディナを保護下に置いた。1520年に即位した第10代スルタンの  の時代に帝国は最盛期を迎え、ハンガリーを征服して  を包囲し、地中海でも1538年の  の海戦でスペインなどの連合艦隊に勝利した。さらにマグリブではアルジェリアを属領としたほか、南イラク・イエメンをも支配してポルトガルと香薬貿易をめぐる争った。

広大な版図を抱えたオスマン帝国では、官僚と軍隊を中核とする中央集権的統治機構が発達した。スルタンは、イスラーム法である  の施行に努めるとともに、世俗的な慣習法や勅令によって、これを補った。スルタン直属の常備歩兵軍であるイエニチェリは、 制によって兵士を育成した。また、帝国統治下には、ムスリムのほかにキリスト教徒やユダヤ教徒などもいた。オスマン帝国は彼らにイスラーム教を強制することはせず、 とよばれる宗教共同体をつくらせ、納税を条件に自治を認めた。さらに、帝国の対外政策としては、対ハプスブルク同盟を結んでいた  に対して通商特権を恩恵として与えた。

オスマン帝国はその後もヨーロッパ諸国への攻勢を続けたが、1683年の第2次  包囲に失敗し、1699年の  条約でハンガリーの大半を失った。(34)その後、オスマン帝国はヨーロッパに対して守勢にまわるようになり、領土も徐々に失われていった。

問1 空欄  に入るのに最もふさわしい地名を、次の ア～コ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- |               |            |           |
|---------------|------------|-----------|
| ア ウィーン        | イ アドリアノーブル | ウ アンカラ    |
| エ プレヴェザ       | オ バグダード    | カ ニコポリス   |
| キ コンスタンティノーブル | ク レパント     | ケ イスファハーン |
| コ コソヴォ        |            |           |

問2 空欄  に入るのに最もふさわしい人名を、次の ア～ク の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- |              |              |           |
|--------------|--------------|-----------|
| ア セリム1世      | イ ムラト1世      | ウ バヤジット1世 |
| エ アブデュルメジト1世 | オ スレイマン1世    | カ セリム2世   |
| キ メフメト2世     | ク アブデュルハミト2世 |           |

問3 空欄  に入るのに最もふさわしい人名を、問2の ア～ク の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問4 空欄  に入るのに最もふさわしい地名を、問1の ア～コ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問5 空欄  に入るのに最もふさわしい語を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- |          |          |          |         |
|----------|----------|----------|---------|
| ア アッバース  | イ サファヴィー | ウ ファーティマ | エ マムルーク |
| オ カージャール |          |          |         |

問6 空欄  に入るのに最もふさわしい人名を、問2の ア～ク の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問7 空欄  に入るのに最もふさわしい地名を、問1の ア～コ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問8 空欄  に入るのに最もふさわしい地名を、問1の ア～コ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問9 空欄  に入るのに最もふさわしい語を、次の ア～コ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- |             |         |         |        |
|-------------|---------|---------|--------|
| ア カピチュレーション | イ ティマール | ウ デヴシルメ | エ ミット  |
| オ ウラマー      | カ シャリーア | キ イマーム  | ク アミール |
| ケ ハディース     | コ ハラージュ |         |        |

問10 空欄  に入るのに最もふさわしい語を、問9の ア～コ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問11 空欄  に入るのに最もふさわしい語を、問9の ア～コ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問12 空欄  に入るのに最もふさわしい国名を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア ジェノヴァ      イ ロシア      ウ イギリス      エ オランダ      オ フランス

問13 空欄  に入るのに最もふさわしい語を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア ロンドン      イ トルコマンチャーイ      ウ サン＝ステファノ  
エ セーヴル      オ カルロヴィッツ

問14 下線部 (34) に関連して、18世紀におけるオスマン帝国の動きについて述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア エジプト＝トルコ戦争を二度戦った。
- イ ギュルハネ勅令を發布し、西欧化をめざした改革をおこなった。
- ウ アフガーニーがパン＝イスラーム主義を提唱した。
- エ ヨーロッパ文化をとりいれて文化的に成熟し、「チューリップ時代」といわれた。
- オ オスマン帝国の支配下にあったギリシアが独立した。

**3** この問題は、解答欄 **41** ～ **53** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

ヨーロッパ大陸北西の沖合に位置するブリテン（イギリス）諸島は、ヨーロッパ大陸と歴史的に深いつながりをもってきた。「ブリテン」という地名は、(41) 紀元1世紀にローマがブリテン島南部を征服して属州としたさいに、この地を「ブリタニア」とよんだことに由来する。紀元2世紀には、属州となったブリタニアと、ローマ人が「カレドニア」とよんだブリテン島北部との境界に (42) 長城 が築かれ、これが現在のイングランドとスコットランドの境界線の一部引き継がれている。

ローマの撤収以降のブリテン島では、ヨーロッパ大陸やスカンディナヴィア半島からの波状的な侵入に見舞われ、中世初期のキリスト教の中心地であったアイルランド島からは、(43) ケルトのキリスト教 やゲールの文化が移入されるなど、民族と文化の混交が進んだ。やがて10世紀までには、南に (44) イングランド王国、北にスコットランド王国が、部族群を統合するかたちで形成されるようになった。

イングランド王国は、11世紀に (45) フランス北西部のノルマン貴族に征服された。イングランド王国にはフランスの文化と法制度が導入され、スコットランドもアングロ＝ノルマン型の文化と制度の影響を受けるようになった。王国としての自立性を高めたイングランドとスコットランドは、ブリテン島を二分する勢力となり、(46) 百年戦争にあたっては、スコットランド王家がフランス王家と接近する事態もおこった。

16世紀におこった宗教改革は、ブリテン島に2つのプロテスタント国を誕生させた。南のイングランドが (47) 王権の下に独自の教会体制を築いたのに対して、北のスコットランドでは (48) 王権から自立した国教会が成立した。この宗教改革の渦中で、イングランド国王ヘンリ8世は、それまで独立状態にあったアイルランドを「アイルランド王国」と宣言し、イングランドの属国とみなす政策を採用した。

この状況を一変させたのは、17世紀中葉にブリテン諸島でおこった一連の軍事紛争である。(49) 国王に対するスコットランドの反乱に端を発したこの紛争は、イングランドの内乱からスコットランドとアイルランドを巻き込んだ「三王国戦争」に拡大し、スコットランドとアイルランドはクロムウェルによる軍事征服によって (50) イングランド共和国に強引に併合された。特にアイルランドに対する征服は徹底的で、アイルランドの有力者はほぼ一掃されて、イングランドによるアイルランド支配の前提が生まれた。

ブリテン諸島がイングランドの軍事力によって一時的であれ統合された17世紀の出来事は、その後の歴史に影を落とした。(51) スコットランドは18世紀初頭にイングランドとの議会合同に応じ、名目的に存続していたアイルランド王国では、事実上イングランドの不在地主による支配が強化されてい

くことになった。(52) 19世紀初年のアイルランド併合は、ブリテン諸島が連合王国として統合された事実を告げるものであったが、その内実はイングランドの膨張主義と表裏一体であり、19世紀の連合王国では、(53) アイルランド問題はつねに主要な政治的アジェンダであり続けた。

問1 下線部(41)に関連して、ローマの属州について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 同盟市戦争の結果、ギリシア全域がローマの属州となった。
- イ ポエニ戦争に勝利したポンペイウスは、西地中海全域をローマの属州とした。
- ウ ガリア遠征をおこなったカエサルは、後にガリアの属州総督に就任した。
- エ 属州ヒスパニア出身のトラヤヌス帝の時代に、ローマの属州版図が最大となった。
- オ ディオクレティアヌス帝の時代に、属州全域にローマ市民権が拡大された。

問2 下線部(42)の長城は、建設を命じたローマ皇帝の名をとって「ハドリアヌスの長城」とよばれる。ハドリアヌス帝の業績として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 地誌『ゲルマニア』を著した。
- イ ストア派の哲学者セネカを師とし、『自省録』を著した。
- ウ ソリドゥス金貨を導入し、ローマ帝国全域の交易を円滑化した。
- エ ニケーア公会議を開催し、キリスト教をローマ帝国の国教とした。
- オ 属州統治を安定化するため、各地を巡回視察した。

問3 下線部(43)は、アイルランドの居住民がローマのキリスト教をいち早く受容したことを示唆している。初期のキリスト教の伝播について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 5世紀に聖パトリックがアイルランドにキリスト教を伝えたとされる。
- イ ローマ教会による初期の布教を担ったのは、主にイエズス会の修道院活動であった。
- ウ 6世紀以降のゲルマン人には、ネストリウス派の教えが伝わった。
- エ グレゴリウス改革を経て、ローマ教会は布教にあたって聖像禁止令を發布した。

問4 下線部(44)の王国を初めて統一した部族または国の名と、その王の名の組み合わせとして最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 **44** にマークしなさい。

- ア ブルグンド — アッティラ
- イ アングル — クローヴィス
- ウ ウェセックス — エグバート
- エ サクソン — ロロ
- オ ジュート — アルフレッド

問5 下線部(45)の後にブリテン諸島に展開した出来事について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 **45** にマークしなさい。

- ア 中世フランス語がイングランド人に強制されたため、ブリテンの古ゲルマン語は根絶された。
- イ 征服王ウィリアムはアイルランドに巡察使を送り、アイルランド支配に乗り出した。
- ウ 征服王ウィリアムは大憲章を發布し、イングランド統治の原則を示した。
- エ イングランドでは、ノルマンの封建貴族が割拠し、王権は有名無実化した。
- オ イングランドでは、身分代表に地域代表を加えた二院制議会が成立した。

問6 下線部(46)に関連して、百年戦争でイングランドと対戦したフランス王家の名と、この時期にスコットランドで成立した王家の名の組み合わせとして最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 **46** にマークしなさい。

- ア アンジュー家 — ヨーク家
- イ カペー家 — ランカスター家
- ウ ブルボン家 — テューダー家
- エ ヴァロワ家 — ステュアート家
- オ ブルゴーニュ家 — ハノーヴァー家

問7 下線部(47)のイングランドに国教会が成立する事情について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 **47** にマークしなさい。

- ア 国王至上法を制定し、国教会の長を護国卿とすることを定めた。
- イ 修道院領を没収して王領地とした後、その大部分を売却した。
- ウ エドワード6世の時代に、一時カトリックに復帰した。
- エ トマス＝モアは『愚神礼讃』を著して国教会設立を批判し、処刑された。
- オ エリザベス1世の時代に、審査法を定めて国教会の制度が確立した。

問8 下線部(48)のスコットランド国教会について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 **48** にマークしなさい。

- ア スコットランド国教会は、ルター派の教義と教会制度を採用した。
- イ スコットランド国教会は、カルヴァン派の長老主義を採用した。
- ウ スコットランドの国教徒は、ユグノーとよばれた。
- エ スコットランドの国教徒は、ゴイセンとよばれた。
- オ スコットランドの国教徒は、ピューリタンとよばれた。

問9 下線部(49)について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 **49** にマークしなさい。

- ア スコットランド国王は、反乱鎮圧のためにスペインのフェリペ2世に救援を求めた。
- イ スコットランド国王は、反乱鎮圧のためにフランスのルイ14世に救援を求めた。
- ウ 反乱勃発時に、イングランドとスコットランドは同君連合の関係にあった。
- エ スコットランドの反乱は、権利請願に応じない国王への反発からおこった。
- オ スコットランドの反乱は、スコットランド国王を追放したイングランドへの反発からおこった。

問10 下線部(50)について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 **50** にマークしなさい。

- ア この共和国は、王党派の少数貴族による寡頭制であった。
- イ この共和国は、イングランドの国民投票によって君主政廃止を決定したのちに成立した。
- ウ この共和国は、ウェストファリア条約で正式に承認された。
- エ この共和国の下で、東インド会社が設立された。
- オ この共和国の下で、最初の航海法が制定された。

問11 下線部 (51) によって成立した「大ブリテン王国」初代の国王の名を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 **51** にマークしなさい。

- ア ヴィクトリア女王      イ アン女王      ウ ウィリアム3世      エ メアリ2世  
オ ジョージ1世

問12 下線部 (52) の前後のイギリス (大ブリテン王国～連合王国) の対外事情について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 **52** にマークしなさい。

- ア 東インド会社によるアジア貿易が発展し、飲茶習慣がイギリスに定着した。  
イ 大西洋奴隷貿易の主導権をめぐって、北アメリカ植民地とのあいだで武力紛争がおこった。  
ウ 北アメリカ植民地との紛争の結果、東インド会社の解散が決定した。  
エ ナポレオンのフランス皇帝即位後、アミアンの和約を結んだ。  
オ ナポレオンによる大陸封鎖令に対抗して、ロシアと武装中立同盟を結んだ。

問13 下線部 (53) について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄 **53** にマークしなさい。

- ア アイルランドの土地問題を解決するための農奴解放令が、グラッドストーン内閣のもとで発布された。  
イ アイルランドのカトリック教徒に対する差別撤廃は、1829年のカトリック教徒解放法により実現した。  
ウ 1840年代にアイルランドでおきた大飢饉を救済するため、食糧輸入を円滑化する穀物法が制定された。  
エ 第3回選挙法改正が実現すると、アイルランドの自治権要求運動は沈静化した。  
オ 1914年にアイルランド自治法が成立し、翌年にアイルランド自由国が誕生した。

**4** この問題は、解答欄 **61** ～ **71** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

世界の近現代史における革命とは、武装した大衆などの実力行使による統治体制の急激な変革を意味する。革命による政治的な変化は社会の各方面にしばしば大きな変化をもたらした。そのため、革命という語は (61) 科学革命や (62) 産業革命など、物事の急激な発展や、それにとまなう社会の変化を説明する際にも使われる。

北アメリカのイギリス領13植民地の代表者たちは、1776年に独立宣言を発表した。この独立宣言は、中世以来の伝統的な権威や身分制社会の原理を批判する (63) 啓蒙思想の影響を強く受けたものであり、独立のための戦争と一連の政治的変革はアメリカ独立革命と総称される。

アメリカ独立革命は1789年に起こった (64) フランス革命に大きな影響を及ぼし、フランス革命の衝撃はラテンアメリカ植民地の独立運動や奴隷解放運動の契機になった。こうした一連の変革運動は大西洋革命と呼ばれる。

**65** 18日のクーデタで権力を握ったナポレオンはフランス革命の終了を宣言した。しかし、これは旧制度への復帰を意味しなかった。むしろ、その後のヨーロッパ諸国との戦争によって自由主義とナショナリズムという新しい思潮がフランスからヨーロッパ各地に広がった。

ナポレオン戦争後のフランス七月革命はベルギー、ドイツ諸邦、スペイン、(66) イタリア、ポーランドに波及した。さらに、フランスに二度目の共和政を誕生させた1848年の二月革命は、ヨーロッパ各地に (67) 「諸国民の春」と呼ばれた革命的な状況をもたらした。

革命の時代は20世紀に入っても続いた。(68) 1910年代のメキシコ革命の成果は1917年の同国憲法に結実し、政教分離、土地改革、労働者の諸権利の保障が実現した。

第一次世界大戦のさなかに起こった (69) ロシア革命では、レーニンら社会主義者が政権を樹立した。この革命は中国のほか、朝鮮、インドネシア、ベトナムなど、植民地支配からの解放をめざす人々の運動に大きな影響を及ぼした。

ロシア革命の結果として1922年に成立したソヴィエト連邦は第二次世界大戦で (70) ナチス＝ドイツに勝利し、国際政治における存在感を増した。戦後まもなくのヨーロッパでも、イギリス、(71) フランス、イタリアなど西欧諸国の総選挙で左派勢力の伸長が目立った。

問1 下線部 (61) に関連して、17世紀から18世紀のヨーロッパにおける学問の発展について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **61** にマークしなさい。

- ア イギリスのジェンナーは気体の圧力と体積の関係を解明した。
- イ スウェーデンのリンネは植物の分類法を体系化した。
- ウ フランスのパスツールは燃焼を理論化し、質量保存の法則を確立した。
- エ ドイツのケプラーは心臓による血液の循環説を説いた。

問2 下線部 (62) に関連して、18世紀から19世紀の世界各国における、工業を基礎とした資本主義経済体制への移行期について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **62** にマークしなさい。

- ア ドイツの産業革命は、関税同盟による統一市場の形成にともなって19世紀半ばから本格化した。
- イ アメリカの産業革命は奴隷解放宣言後の1850年代に始まり、絶対的な労働力不足が機械化を後押しした。
- ウ イギリスでは、多くの工場が建設された農村部への大規模な人口移動によって都市が衰退した。
- エ 1790年代にイギリス、アメリカ、フランス、ドイツで蒸気機関車の営業運転が始まり、鉄道による交通の発展が各国の産業革命を後押しした。

問3 下線部 (63) について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 **63** にマークしなさい。

- ア フランスのテュルゴーはイギリスをモデルに三権分立を説いた。
- イ フランスのルソーは『哲学書簡 (イギリス便り)』を著し、国家主権を絶対として人民の抵抗権を否定した。
- ウ イギリスのアダム＝スミスは分業と市場経済の基礎理論を確立した。
- エ イギリスのケネーはデイドロとともに理性を軸に経験論と合理論を総合した。

問4 下線部(64)に関連して、1789年に始まるフランス革命とその後のナポレオン戦争の時期について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 64 にマークしなさい。

ア 国王ルイ16世の一家は、ヴェルサイユに行進したパリの女性たちに連行され、全員が1789年末までに処刑された。

イ 1791年憲法によって国民公会が廃止され、総裁政府が樹立された。

ウ ナポレオンがイタリア遠征で勝利し、第1回対仏大同盟が崩壊した。

エ バイエルンなどのドイツ諸邦はナポレオンの保護下で北ドイツ連邦を結成した。

問5 空欄 65 に入るのに最もふさわしい語を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 65 にマークしなさい。

ア ヴァンデー                      イ コンコルダート                      ウ テイルジット                      エ テルミドール  
オ ブリュメール

問6 下線部(66)に関連して、19世紀のイタリア統一の過程について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 66 にマークしなさい。

ア カヴールは亡命先のマドリッドで「青年イタリア」を組織し、侵入してきたナポレオン軍と戦った。

イ 1859年のイタリア統一戦争でサルデーニャはオーストリアからヴェネツィアを獲得した。

ウ ガリバルディは千人隊(赤シャツ隊)を率いて両シチリア王国を占領した。

エ イタリア王国はプロイセン＝オーストリア戦争に参戦し、オーストリアからロンバルディアを獲得した。

問7 下線部(67)に関連して、1848年前後のヨーロッパ情勢について述べた文として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 67 にマークしなさい。

ア ウィーンの学生、市民、労働者はコシュートを追放し、皇帝にドイツ統一を約束させた。

イ ベーメン(ボヘミア)では、ベーメン議会の選挙と、ドイツ語とチェコ語の対等な扱いが確認された。

ウ エンゲルスを指導者としたハンガリーはロシアからの完全な独立を実現した。

エ フランクフルト国民議会はプロイセン王を皇帝に選出し、プロイセン王がこれを受け入れ、ドイツ帝国が成立した。

問8 下線部 (68) について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 対外債務の返済停止を口実にフランス、イギリス、スペインが武力干渉した。
- イ 先住民出身のファレスが大統領に就任し、民主化に貢献した。
- ウ ディアスらの農民軍によってサパタ大統領の独裁体制が打倒された。
- エ 自由主義者のマデロが大統領に就任したが、軍部のクーデタで暗殺された。

問9 下線部 (69) に関連して、1917年から1922年までの、ロシア革命、内戦、干渉戦について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア ソヴィエト政権はブレスト＝リトフスク条約によってポーランド、リトアニア、エストニアを併合した。
- イ 十月革命によってニコライ2世が退位し、レーニンらによる臨時政府が成立した。
- ウ 臨時政府は1918年に「土地に関する布告」を宣言し、すべての農奴の即時解放を実現した。
- エ 1921年に独裁者のスターリンが第1次五カ年計画による重工業建設と農業集団化を開始した。
- オ 全ロシア＝ソヴィエト会議は「平和に関する布告」で無併合・無賠償・民族自決に基づく講和を呼びかけた。

問10 下線部 (70) に関連して、ヒトラーとその政策について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 首相就任の直後、総選挙を延期し、ミュンヘン一揆と呼ばれるクーデタによって全権委任法を成立させた。
- イ 再軍備宣言と徴兵制復活を非難されたため、国際連盟の脱退を宣言した。
- ウ ティラナ条約によってアルバニアを保護国化した。
- エ 仏ソ相互援助条約を口実としてドイツ軍をラインラントに進駐させた。

問11 下線部 (71) に関連して、第二次世界大戦後のフランスについて述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア エジプトのスエズ運河国有化宣言に反発し、1946年の第1次中東戦争に参戦した。

イ 1949年に原爆の開発に成功し、アメリカに次ぐ世界で二番目の核保有国となった。

ウ 1951年にヨーロッパ石炭鉄鋼共同体から脱退した。

エ 1962年にアルジェリアの独立を承認した。